

# 令和5年産「長島地区春バレイショ」栽培基準表

鹿児島県農協長島地区赤土バレイショ部会・長島町農林水産技術員連絡協議会・鹿児島県園芸振興協議会出水支部

★生産履歴の記帳や農薬の管理を行い、安心・安全な生産に努めよう!!

★「ブランド産地」として高品質生産に努めよう!!

## 1. 作型

作型	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	適品種
春1型	☐	☐ ☆	◎	◎	↔			■	ニシュタカ
春2型		☐ ☆	☐	◎	◎	↔			ニシュタカ ピルカ メークイン
春3型		☐ ☆	☐	◎	◎	↔			ニシュタカ ピルカ メークイン
春4型		☆	☐	☐	◎	↔			ニシュタカ

☐ 土壌消毒 ☆ 種いも消毒 ◎ 植え付け、元肥施用 ↔ えき病防除期間 ■ 収穫

## 2. そうか病対策

### (1) 種いも消毒による防除方法

到着次第袋から出し、コンテナに移し必ず種いも消毒を行う。

病害名	農薬名	倍率	使用時期	備考
そうか病	アグレプト液剤	100倍	植付前	5~10秒間 種いも浸漬
黒あし病	アグリマイシン100	40~100倍		

種いも消毒後は風通しの良い日陰で風乾する。処理後の廃液は、側溝、河川、海岸に廃棄しない。

### (2) 耕種的防除方法

- (ア) 前年度激発したほ場での作付けは避け、緑肥等を作付けする。
- (イ) 未熟堆肥は使用しない。
- (ウ) 米ぬかを使用するときは10アール当たり150~300kgの範囲で植え付け前までに施用する。
- (エ) 微生物資材を使用するときは土壌消毒剤や苦土石灰の使用について注意する。(苦土石灰使用後2週間空ける)
- (オ) 収穫後の茎葉、くずいもはほ場から持ち出す。

### (3) 土壌消毒による防除方法

農薬名	使用量	使用方法	地温	消毒期間	ガス抜き期間
ガスタード微粒剤 (土壌消毒剤)	20~30kg/10a	均一に散布して、 土壌と混和しその後鎮圧を行う。	15℃以上 10~15℃	14~20日 20~30日	14日以上

※種いも消毒と土壌消毒の併用でそうか病対策の効果を高める。

## 3. 浴光催芽・育芽 (春4型を除く)

植え付け20~30日前に、種いも消毒を行い、発芽促進のために15~20℃で催芽し、5mmぐらいの芽にする。その後、雨のあたらない軒下等で浴光(直射日光は避ける)し、1cm以内の充実した緑色の芽になるようにする。

種いも消毒 → 催芽 → 浴光・育芽

## 4. 種いもの切り方

- ① 芽をしっかりと確保し、頂部を中心に縦に切る。(1個重は30g程度)
  - ② 特にピルカ・メークインは頂部と底部を別々に切り分けて植えると発芽揃いが良い。
- ※切断用包丁は消毒しながら使用する。(消毒液:ケミクロンG10倍)  
※内部異常(黒変・固いも等)や腐敗した種いもは使用しない。

## 5. 施肥例 (10a当たり)

肥料名	施肥量		成分量
	条施用	全面施用	
いずみ有機3号 (いずみ有機4号)	750kg (600kg)	2,000kg	チッソ19.2~21.6 リン酸12.8~14.4 カリ12.8~14.4
苦土石灰 畑のカルシウム	100kg※		
赤土バレイショ配合	160~180kg		

※不発芽対策として、土壌分析結果(目標pH4.8)に基づき植え付け30日前に石灰質資材等を散布する

## 6. 栽植密度

品種	畦幅	株間	10a当たり株数
ニシュタカ	65cm	15cm	10,000株
ピルカ メークイン	65cm	20cm	7,700株

## 7. 萌芽対策(かん水)

植付時より約1ヶ月間は7日おきにかん水し、萌芽揃いをよくし、イモの初期生育を促進する。

## 8. 畦立て・雑草対策

降雨の湿りを待つて畦立てして、雑草対策としてトレファノサイド粒剤2.5、ゴーゴーサン細粒剤F等のいずれかひとつを5kg/10a土壌散布する。

## 9. 芽出し

・マルチ後、芽が地上に出てきたらマルチを小さく破り、芽出しを行う。

## 10. 防風・晩霜対策

・風による葉いたみを防ぐため、防風ネットを設置する。  
・晩霜害を防ぐため、地域にあった適期植え付けを守る。

## 11. 病害虫防除

・えき病は予防散布を徹底しましょう。

病害虫名	農薬名	倍率	使用時期	使用回数
えき病	ゾーベックエンカンティアSE	2,000倍	14日前	3回
	フォリオゴールド	500~1,000倍	7日前	3回
	プロボース顆粒水和剤	750~1,000倍	7日前	5回
	ホライズンドライブフロアブル	1,000~2,500倍	14日前	4回
	リライアブルフロアブル	800~1,000倍	7日前	3回
	ザンプロDMフロアブル	1,000~1,500倍	前日	3回
	エトフィンフロアブル	500~750倍	7日前	4回
エキナイン顆粒水和剤	2,000~3,000倍	7日前	4回	
えき・軟腐病	フェスティバルC水和剤	400~600倍	14日前	3回
アブラムシ類	コルト顆粒水和剤	4,000~8,000倍	前日	3回
ケラ・ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	4~6kg	植付時	1回

(令和4年10月現在 登録状況)

- ※ 必ずラベルを確認して使用しましょう。
- ※ 同一剤(同一成分)の連続散布は避けましょう。
- ※ 農薬の空き容器は、適正に処理しましょう。

★生育不良圃場については土壌診断を受けよう!!

(令和4年10月作成)